

令和3年度 生活支援コーディネーター 現任者研修Ⅱ

実施案内

1 目的

「生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ」の受講者を対象に、地域住民が主体となって取り組んでいる高齢者への支援活動や、高齢者が主体となって取り組んでいる地域活動において、活動者や生活支援コーディネーター等がどのような意図をもって地域の住民や団体に関わり、支援しているのか等を学ぶ機会を提供することにより、各区市町村における生活支援体制整備事業の推進を支援することを目的とします。

2 実施主体

東京都福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課（以下「都」という。）

※研修実施機関：社会福祉法人東京都社会福祉協議会（以下「東社協」という。）が都より委託を受けて実施します。

3 受講対象者

平成30年度から今年度（令和3年度）に、「生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ」の受講決定を受けた生活支援コーディネーター

（※前年度以前に本現任者研修Ⅱを受講した方は対象外とします。）

4 実施方法

WEB会議ツール「Zoom」によるオンライン開催

※カメラ・マイク付きのパソコンをご用意ください。タブレット・スマートフォン等での受講も可能ですが、なるべくパソコンでの受講をお願い申し上げます。ご用意が難しい場合、研修事務局でパソコンをご用意し、飯田橋周辺会場での受講をご案内いたしますが、定数を超えた場合お断りさせていただくこともあります。会場での受講を希望される方は、「受講申込書」に記載してください。希望人数に応じて会場が異なるため、受講決定通知の際にご連絡いたします。なお、会場に実践報告者はおりませんので、ご承知おきください。

※当日使用する資料、URL、パスワード等は受講者へ直接メールにて後日ご連絡いたします。資料は事前に各自印刷してご用意ください。

5 研修日程・定員・視察先

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地を訪問しての研修はできませんが、実践報告を聞いたうえで生活支援コーディネーター・活動者とのやりとりや参加者間で意見交換をすることで、理解を深める研修とします。

以下A～Eコースの中から1コース選択の上、受講していただきますが、実践報告部分については後日、全受講者にA～Eすべてのコースの録画を配信いたしますので、選択コース以外もご覧いただくことができます。

※詳細は「10 コース概要」をご確認ください。

区市町村	コース	日時	定員	お話を伺う人
文京区	A	令和3年12月21日(火) 14時00分～16時30分	12名	・武市 和彦氏（ぶんぶく屋上養蜂部 事務局担当） ・藤本 愛氏（文京区社協 地域福祉推進係）

世田谷区	B	令和4年1月18日(火) 9時30分～12時00分	12名	・大島 久仁氏 (給田西住宅 五月会 代表) ・小林 暁子氏 (世田谷区社協/2層 Co)
杉並区	C	令和4年1月20日(木) 14時00分～16時30分	12名	・田中 南菜子氏 (杉並区社協・杉並区地域包括支援センター ケア 24 南荻窪/2層 Co)
北区	D	令和3年12月13日(月) 14時00分～16時30分	12名	・内田美穂氏 (桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター/2層 Co) ・野呂尚暉氏 (北区社協 桐ヶ丘地区コミュニティソーシャルワーカー)
町田市	E	令和4年1月24日(月) 14時00分～16時30分	12名	・玉木 徹氏 (成瀬お助けたい) ・諏訪 秀雄氏 (町田市南第3 高齢者支援センター/2層 Co)

(研修内容)

主な内容は以下の通り。

各コース、2～3時間を目安として企画しています。

コースによって研修内容が前後する場合がありますので、予めご了承ください。

	内容	ポイント
①	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修目的・内容の確認 ● 受講者自己紹介
②	生活支援コーディネーター等から説明	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活支援体制整備事業について ● 活動者(団体)の紹介
③	活動者から活動紹介	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動のキーパーソンからのヒアリング 活動の立ち上げに至った思いや課題認識、利用者等の参加動機や参加後の変化、コーディネーターの関わり、今後の展開等について
④	コーディネーターからの報告・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ● コーディネーターからの報告 活動とのこれまでの関わり、支援内容とその過程、今後の展開等 ● 受講者の感想・気づきの共有 ● 質疑応答 等

6 申込方法及び提出期限

下記 Google フォームよりお申し込みください。Google フォームへのアクセスが難しい場合は、【別紙】「受講申込書」をメールにて東社協宛に送付してください。

Google フォーム→<https://forms.gle/t5M573jF3obc44ig8>

提出期限 **令和3年10月29日(金)正午【必着】**

7 申込みに当たっての注意事項

- (1) 「受講申込書」に参加を希望するコースを第3希望までご記入ください。なお、定員を超えた場合は受講できない場合がありますので、予めご了承ください。
- (2) 受講決定後、Eメールにて受講者へ受講決定通知や当日使用する Zoom の URL 等を送付いたします。ご案内の送付先 E メールアドレスを、「受講申込書」【1】欄にご記入ください。
- (3) 会場での受講を希望される場合、「受講申込書」【2】欄に○を記入するようお願いいたします。
- (4) 本研修では、生活支援コーディネーター業務におけるネットワークづくりに活かしていただくため、「受講申込書」にもとづき、「氏名」「所属」を掲載したコースごとの受講者名簿を作成し、研修当日に配布する予定です。
※提供いただいた個人情報には上記「1 目的」に関する以外には使用しません。

8 受講者への決定通知

令和3年11月上旬に都が参加コースの決定を行い、東社協から受講申込者に通知します。なお、上記「6 申込に当たっての注意事項(2)」に記載の通り、受講決定後、受講者本人に対してお知らせいたしますので、予めご承知おきください。

9 受講料

無料

10 コース概要

Aコース(文京区)：地域と人との接点をつくる養蜂プロジェクト	
①日時	令和3年12月21日(火) 14時00分～16時30分
②概要	エリア・圏域について ・人口 226,292人(区全体) ・高齢化率 19.1%(区全体) ・1層コーディネーター 未配置 ・2層コーディネーター 10人(社協・包括・その他)
	担当の生活支援コーディネーターについて 藤本 愛氏(生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーター) ・生活支援コーディネーターとしての経験年数 6年 ・担当地域名 駒込地区
	当日お話を伺う人 ・武市 和彦氏(ぶんぶく屋上養蜂部 事務局担当)
③活動の内容	2層の生活支援コーディネーターが行う通いの場づくりの中で、男性の参加率が低いという課題から、男性高齢者も活躍できる取組みとして立ち上がりました。現在、「地域と人の接点をつくる養蜂プロジェクト」として男性が活躍できる社会参加のきっかけづくりを第一目標に、参加の年齢は問わず、環境教育や地域活性化等さまざまな結果を生める活動と考え、養蜂作業に直結する活動以外にも準備を進めています。 キーワード：社会参加、男性高齢者、全域的取り組み

Bコース(世田谷区)：給田西住宅 お買い物マルシェ	
①日時	令和4年1月18日(火) 9時30分～12時00分
②概要	エリア・圏域について <ul style="list-style-type: none"> ・人口 63,579人(区全体 917,932人) ・高齢化率 21.1%(区全体 20.2%) ・2層圏域数 28(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの人数 28人(社協・包括・その他)
	担当の生活支援コーディネーターについて 小林 暁子氏(生活支援コーディネーター) <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターとしての経験年数 5年 ・担当地域名 烏山地区
	当日お話を伺う人 <ul style="list-style-type: none"> ・大島 久仁氏(給田西住宅 五月会 代表)
③活動の内容	<p>買い物不便エリアである給田西住宅の住民が主体となり第2・4(木)お買い物マルシェを開催。コロナ禍で買い物に行けないという声がかきかけとなり、買い物支援の取り組みを始めた。団地のおまつり等イベントを中心に活動を行っていた「五月会」のメンバーが中心となり、団地住民への呼びかけや、注文品の配達する御用聞きも行っている。現在は、近隣農家からの野菜、魚屋、区商店街連合会の移動販売に加え、地元警察・消防等からの広報や「身近な福祉の窓口」(区、包括、社協)の出張相談会等も開催している。住民同士が顔を合わせ交流の場となっている。</p> <p>キーワード： 買物不便、移動販売、団地、住民主体</p>

Cコース(杉並区)：高齢者のお出かけ企画「遊ぼう会」	
①日時	令和4年1月20日(木) 14時00分～16時30分
②概要	包括担当圏域について <ul style="list-style-type: none"> ・人口 32,116人(区全体 573,375人) ・高齢化率 21.99%(区全体 20.96%) ・2層圏域数 20か所(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの人数 20人(社協・包括・その他)
	担当の生活支援コーディネーターについて 田中 南菜子氏(第2層生活支援コーディネーター) <ul style="list-style-type: none"> ・経験年数 4年 ・担当地域名 荻窪・南荻窪・宮前・高井戸東
	当日お話を伺う人 <ul style="list-style-type: none"> ・上記の生活支援コーディネーター
③活動の内容	<p>地域活動グループの高齢化という地域課題を「何とかしたい!」という思いを持った住民が立ち上げた会です。グループ代表者の情報交換の場を開催したことを皮切りに、体力に不安のある高齢者も楽しく外出ができるお出かけ企画を立て、実施してきました。コロナ禍により外出制限がある中では、新たな取組みとして映画鑑賞会の開催、高齢者が楽しくお散歩ができるようなマップを作成中です。</p> <p>キーワード： 地域活動グループ、お出かけ、ボランティア</p>

Dコース(北区)：既存の会議を「新たな協議の場」に	
①日時	令和3年12月13日(月) 14時00分～16時30分
②概要	エリア・圏域について <ul style="list-style-type: none"> ・人口 16,169人(区全体 352,570人) ・高齢化率 40%(区全体 25%) ・2層圏域数 16(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの人数 16人(社協・包括・その他)
	担当の生活支援コーディネーターについて 内田 美穂氏(第2層生活支援コーディネーター) <ul style="list-style-type: none"> ・担当地域名 桐ヶ丘地区
	当日お話を伺う人 <ul style="list-style-type: none"> ・内田 美穂氏(桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター) ・野呂 尚暉氏(北区社協 桐ヶ丘地区コミュニティソーシャルワーカー)
③活動の内容	<p>高齢化率が40%の桐ヶ丘地区においては、以前より社会福祉法人の地域公益活動の一環として、障がい者支援の法人、生活支援コーディネーターの所属する地域包括支援センターを運営する法人、社会福祉協議会の3法人が連携して、都営住宅の空き店舗を利用して、日中の高齢者等の気軽な地域の集い場「あかしや」を設置・運営してきました。</p> <p>近年、この集い場「あかしや」の運営委員会の中で、集い場の運営の話題にとどまらない地域ニーズの把握が行われ、地域の食事処づくりなど新たな取組みが派生するようになってきている。関心や話題が変化してきたことから、地域を代表する固定メンバー中心の運営委員会から、複数のコアメンバーを中心にしながら話題や関心に応じて、柔軟に運営する協議の場に変化させるために生活支援コーディネーター、地区のCSW、関係者などが連携して新たな「協議体」づくりにむけた新たなメンバーの選定、協議内容や方向性の確認などさまざまな課題に向けさまざまなチャレンジを行っています。現在進行形の協議の場づくり紹介です。</p> <p>キーワード：柔軟な協議体、社会福祉法人の地域公益活動、CSWとの協働</p>

Eコース(町田市)：生活支援団体が行う移動支援への取組み	
①日時	令和4年1月24日(月) 14時00分～16時30分
②概要	エリア・圏域について <ul style="list-style-type: none"> ・人口 約33,000人(市全体 430,671人) *2021.9.1時点 ・高齢化率 約30%(市全体 27.11%) ・2層圏域数 12(包括圏域と同じ) ・2層コーディネーターの人数 12人(社協・包括・その他)
	担当の生活支援コーディネーターについて 諏訪 秀雄氏(生活支援コーディネーター) <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターとしての経験年数 4年 ・担当地域名 成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台
	当日お話を伺う人 <ul style="list-style-type: none"> ・玉木 徹氏(成瀬お助けたい)

<p>③活動の内容</p>	<p>2019年度1月に発足した「成瀬お助けたい」では、高齢化率が市の平均を上回る成瀬台1、2丁目を含む成瀬エリアで、高齢者や障がい者、子育て世帯などの、日常生活におけるちょっとした困りごとを有償でお手伝いするサービスを行っています。団体の中で移動支援サービス(買い物付き添いなど)の必要性を感じ、話し合いを重ねた結果、2021年7月より自家用車での移動支援を開始しました。</p> <p>キーワード： 移動支援、マイカーボランティア、生活支援</p>
----------------------	--

【企画・実施協力】

社会福祉法人 文京区社会福祉協議会
 社会福祉法人 世田谷区社会福祉協議会
 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
 社会福祉法人 北区社会福祉協議会
 町田市

11 その他

- (1) 研修後、アンケートにご協力をお願いいたします。アンケート用紙は当日資料のご案内とともにEメールにて送付し、受講終了後、Google フォームもしくはEメールにてご提出いただく予定です。
- (2) 修了証は発行しませんので、予めご了承ください。

12 申込み・問い合わせ先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当 (渡部・高橋紘之・高橋史佳)
 〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ5階
 電話 03(3268)7186 MAIL tokyo-seikatsushien@tcsw.tvac.or.jp